学校番号	1010

令和２年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　改訂　新化学基礎」（第一学習者出版）						
副教材等	「改訂　ネオパルノート　化学基礎」（第一学習者出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する → 解決の方向を構想する → 解決する → 解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった過程で、自分の考えを発表したり議論したりする活動を行います。
・プリントで授業を進めます。問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく途中の式や考え方も書くようにしましょう。答え合わせは正誤だけでなく、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。

２　学習の到達目標

１．化学が物質を対象とする科学であることや化学が人間生活に果たしている役割を理解できる。
２．原子の構造，電子配置と周期律の関係及び，化学結合のしくみについて理解できる。
３．化学反応の量的関係の基本的な概念や法則が理解できるとともに日常生活や社会と関連付けて考察できる。
４．上記の目標を達成するために探究活動を行い，学習内容を深めるとともに，化学的に探究する能力を高める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自然の事物･現象に関心や探究心をもち､意欲的にそれらを探究しようとするとともに､科学的態度を身に付けている。	自然の事物･現象の中に問題を見いだし､探究する過程を通して､事象を科学的に考察し､導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況 授業参加態度 探究活動 プリント提出 実験・観察	学習状況 授業参加態度 定期考査	学習状況 授業参加態度 実験・観察	学習状況 プリント提出 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	物質の構成とその構成粒子	混合物と純物質	○				a:物質の構成や構成粒子の表し方に関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 b: 物質の構成や構成粒子を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 c: 物質の構成や構成粒子を科学的に探究する技能を身に付けている。 d: 物質について基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。	学習状況 授業参加態度 探究活動 プリント提出 観察・実験 定期考査
		物質とその成分	○					
		物質の三態と熱運動			○			
		原子とその構造		○				
		イオン				○		
		周期表				○		
2	粒子の結合・物質量	イオン結合とイオンからなる物質	○				a: 粒子の結合・物質量に関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 b: 粒子の結合・物質量を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 c: 粒子の結合・物質量を科学的に探究する技能を身に付けている。 d: 粒子の結合・物質量について基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。	学習状況 授業参加態度 探究活動 プリント提出 観察・実験 定期考査
		分子と共有結合			○			
		分子の極性		○				
		共有結合の物質		○				
		金属結合と金属				○		
		原子量・分子量・式量				○		
		物質量				○		
3	溶液の濃度・化学反応式	溶液の濃度		○			a: 溶液の濃度・化学反応式に関心を持ち探求しようとする。 b: 溶液の濃度・化学反応式を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 c: 溶液の濃度・化学反応式を科学的に探究する技能を身に付けている。 d: 溶液の濃度・化学反応式について基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。	学習状況 授業参加態度 探究活動 プリント提出 観察・実験 定期考査
		化学反応式				○		
		化学反応式の量的関係		○				

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。